

# 博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



## 熱かった！2010年 博物館の夏

連日の暑さと同様、博物館事業も多くのご参加をいただき、すべてのプログラムが熱く大盛況となりました。夏休みプログラムとしての皮切り「第2回 科学(化学)実験教室」。続いて、第10回目を迎えた「こども金山探険隊」。小さな隊員たちが、茅小屋金山遺跡を踏破し、金山の知識を深め「こども金山衆」に認定されました。続く大イベント「砂金掘り大会」では全国より約170名の参加者が集結。当日は、NHK「おはよう日本」の生中継も入り、大変盛り上がりしました。同日開催の学校交流大会では、灘・開成・報徳など居並ぶ強敵を、圧倒的強さで引き離した山梨学院大学附属中高チームが初優勝。また初出場ながら大健闘した地元・峡南高校チーム。

そんな中、お迎えすることが出来た25万人目のお客様。物語が幾つも生まれた2010年夏の一幕を、『博物館だより54号』に乗せてお届けします。

# 盆踊りにみる 歴史・文化の継続性

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口 一夫

伝統的な町並みを今に残す地域には、その町（村）固有の文化が残されていて、深さがあり、このような地を訪れる者（観光客）にも共感を与えます。そこには古く長い歴史が累積され、それが滲み出ているからです。少し歴史に触れるとなおさらです。このような地域は身延町内にも色々な形で残されています。

その一例には下山の宿、下山の館を中心とした下山城下町があり、その風情を残しています。歴史的には甲府と下山、そして谷村に城下町が形成されました。下山はその一つです。現在国道52号線が走っていますが、旧道（西河内路）は、それより少し西側（山側）によっていた様子も絵図で分かります。国道沿いに面した短冊形地割り（間口は狭く奥行きがある）が城下町の屋敷構えの特徴ともいわれます。

城下町は戦国時代から大名の城館を核に形成され、初期は防御を中心とした山城から、やがて領内の統治や経済取引に便利な平地に形成されます。下山氏から穴山氏に変わった時点から下山の城下町は形成されたと思います。ここには武将の館を取り巻くように、古くからある神社、寺院も意識した町並みが作られ、市も立ち、また職能集団などが誕生していきます。

有名なのが下山番匠といわれる下山の大工衆です。江戸後期には大きな勢力を誇り、その名声を全国に轟かせます。

向嶽寺、放光寺、恵林寺、景德院等々、大多数の建造物が下山の大工衆の手によります。全盛期の文政年間には、河内には1,000人を超える大工衆がいたといわれます。

こうした時代を経過する中で、河内の盆踊り歌ともいわれる下山甚句が広く歌われるようになりました。現在、保存会で歌と踊りが再現されていますが、やはり歴史・文化の継続性は尊いことです。実は9月1～2日に富山市八尾の「おわら風の盆」祭りに行ってきました。地域に密着された「風の盆」、全国から20～30万人の観光客を呼び込んでいますが、大変地味な盆のまつりでした。

八尾の11地区がそれぞれ9月3日までの3日間、午後3時頃から11時頃まで、町内で、また4箇所の特設ステージで優雅な踊りを展開します。舞台となるステージも大変地味でした。「おわら風の盆」は、阿波踊りのような派手さはなく対象的。女性は浴衣姿で笠を深く被り、男性は法被姿に笠を被り、絶妙なタイミングでの踊りに、観光客を惹きつけます。

実は、この「風の盆」を目前に見ていて、これって身延町でも出来るんじゃないかな、そんな思いを強くしました。下山甚句「身延の者は 声がよい よいはずだソレ南天山の 水飲むドッコイ 南天山の水を飲む」も、もともとは素朴な盆歌だと思います。これに「おわら風の盆」に見られるような、町内の随所で、盆踊りの色香が漂えば、これまた身延町の宝になっていく。地域の活性化にも繋がっていくものと感じました。身近にあるものを大切にしたいですね。



## 活 動 報 告

### 各地で“甲斐金山”について講演・講義

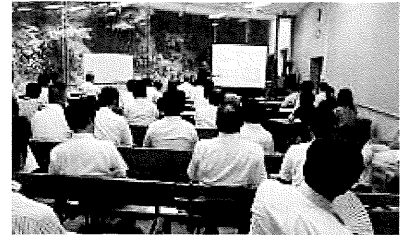
6月27日(日)

各施設でも出張講義などが行われていますが、当館も同様に、館長や学芸員が出張講義や外部からの講義依頼などに出向いています。

6月のこの日は、小松学芸員が「女性研究者が語る考古学最前線」の第2回目講師として、風土記の丘センターで「湯之奥金山遺跡の発掘調査と博物館活動」と題して話しました。そして同日、谷口館長は、世界遺産・石見銀山の「石見銀山資料館」に。同館が開館35周年の記念式典が開催され、その記念講演の講師として招かれたものです。谷口館長は「16世紀・東国の初源期山金山遺跡の様相」と題して、17世紀に活発化した日本の金銀鉱山遺跡に先行した甲斐金山の事例を中心に湯之奥（中山・内山・茅

小屋）金山のお話をし、現地の皆さんも熱心に聴講してくださり、「博物館は地域活性化の拠点」という活動を行っており、様々な金銀鉱山研究に関わる未来へ向けての課題や展望の話題で大変盛り上がり、今後の研究に活かしていきたいところとなりました。

また、7月以降も各機関から座学の講師をご依頼いただき対応しておりますが、そのようなご希望や計画がありましたら、博物館までお気軽にお問い合わせください。



### 第2回科学(化学)実験教室大盛況!

7月24日(土)



夏休みプログラム第1弾として、宮本一弘先生（開成学園化学部顧問）が講師を務めてくださった実験教室。昨年の好評に引き続き、化学に“科学”の要素も取り入れ、町内小中学校と隣町の子供達を中心に県内各地からたくさんの子供たちが参加しました。

内容は身近な物で冷却パックを作る実験、偏光板の実験や水の電気分解など、小学校低学年向きから中学生まで幅広い化学実験を全部で3つを用意。二酸化炭素の空気層の上に浮かぶシャボン玉を、歓声を上げながらも不思議そうに見つめたり、冷却パックを作る際に、尿素が手の平で冷たくなる感覚を楽しんだり、そうした雰囲気の中、宮本先生はちょっとした工夫でいろんな実験を楽しむことが出来ることなどを説明してくださり、まさに

化学を楽しむ時間となりました。

保護者や子どもたちからの声は、「去年も参加してとっても良かったので、今年も楽しみにしていました。とても良かったです。」「化学だいすキッズに入会しました。山梨にこういう機会はないのでありがたいです。」「楽しかった。今度いつあるんですか?」「友達や親戚の子も誘えば良かった。」など、たくさん感想をいただきました。

宮本先生には、子ども達に化学という分野に興味を持ってもらい、同時に夏休みの自由研究のヒントにもなる学習機会を作っていただきましたが、先生ご自身も「こういう機会を通してもっと化学への興味を持って欲しいし、同時に博物館へ足を運ぶきっかけになれば嬉しい」とおっしゃってくださいました。来年も開催していきたいと考えていますので、楽しみにしててください。



## 今年も夏休み自由研究プロジェクトに参加

7月19日(月)

夏休みを目前に控えた「海の日」。毎年恒例の山梨県下博物館美術館が、山梨アイメッセ(甲府)に集結する合同プレゼン「夏休み自由研究プロジェクト2010」に、いつもの出張砂金採りで今年も参加いたしました。開場と同時に、大勢の子どもたちや保護者の皆さんが砂金採りを楽しもうと長蛇の列を作って大盛況となり、体験後、県内ニュースの取材でコメントを求められていた子もいました。

その後、この夏休みには、プレゼンでここを知って来たと、当館の広々とした砂金採り体験室で、体験を楽しみに、多くのご家族がご来館くださいました。

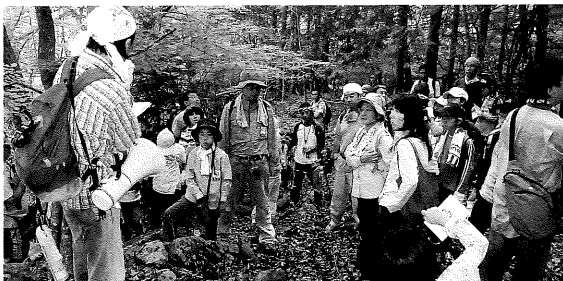


## 第10回こども金山探険隊

7月31日(土)～8月1日(日)

今年で10年目の「こども金山探険隊」。歴史の現場を自分の目で確かめ、戦国期の鉱山作業の一連を学習するこの事業。今年は募集開始から5月の時点で定員を超えるという異例のスピードで締め切ったほどの盛況で、最年少は3歳の隊員が24名、保護者含めて総勢約50名が県内外からご参加。ご家族の中には顔なじみの方も多数いらっしゃり、和気藹々とした雰囲気の中での事業となりました。

1日目の茅小屋金山登山は、昭登山岳会から八巻寛行さん、湯之奥金山博物館応援団から原澤英美さん、石田政明さんに補助スタッフとしてご同行いただき、川を渡る難所も、足場の悪い箇所も誰一人足を滑らせることもなく、無事に到着。およそ500年前にここで営まれていた金山の歴史を、現場に立ち改めて学習しました。



余談ですが、登山において常々感じるのが、やはり若さゆえでしょうが子供たちの元気さと疲れ知らず。親の方がくたくたになってしまって、親と子のギャップとやりとりが何とも面白いのです。

さて、下山後は博物館で粉成作業と汰り分け作業。粉成作業でなかなか出てくることがない金粒ですが、今年は何人かの隊員が金を発見。鉱石の粉の中から出てきた小さな輝きに発見した隊員は大喜びです。そこから他の隊員たちも意欲高揚し、汰り分け作業に夢中。あっという間に時間が過ぎ作業終了です。その夜は、登山の疲れも何の

ので、バーベキュー懇親会でおなかを満たして一日のプログラムを終了しました。

翌日はお待ちかねの1gの金地金を使った灰吹き&甲州金作り。前に作った甲州金を溶かしてさらに大きくするという目標を持って参加していた隊員もいました。

灰吹きは高岡応援団長がバーナー担当してくださいましたが、誰が何度見ても金が溶けていくその様子はとても不思議で魅力的。最初のデモ実験では、隊員たちも保護者の皆さんも取り囲んでその様子を眺めては、感心したように見入っていました。灰吹き実験の余った時間では、甲州金ケース作り。灰吹きが仕上がったら、オリジナル刻印を打ちこみます。

さらに作業の合間を利用して、昨年的好评に続いて「金色メッキネームプレート作り」が今年も登場。銅板のプレートに刻印やマジックで好きなデザインにし、それを洗って薬液を付けた処理後、アルコールランプの火で炙るとたちまち金色に…！それをラミネートしてボールチェーンを通せば、旅行鞆にも付けられるオリジナルネームプレートの完成です。学校の先生もされている原澤さんが「子供たちが興味を持って、さらに“金”と関係のあることが出来れば」ということでご発案くださったこの実験にもみんな夢中で作業していました。

そうこうしているうちに、甲州金作りも佳境。中には楕円に叩き延ばし小さな姫小判のようなものを作った隊員もいて、個性あふれる、まさに“オリジナル甲州金”がたくさん出来上がりました。

あっという間の二日間を締めくくる修了式では、頑張った隊員たちに、谷口館長からひとりひとりに“こども金山衆”認定証と参加賞が手渡され、最後は全員で記念撮影。今年もたくさんの思い出が詰まった10年目に相応しい賑やかな探険隊となりました。





## 湯之奥金山博物館杯・第10回砂金掘り大会

湯之奥金山博物館最大のイベント「砂金掘り大会」も10年目を迎え、今年も全国各地から、たくさんの砂金掘り師の猛者たち約170名が集結！当日は、NHK生放送中継も入り、節目の年らしい大盛り上がりでの大会となりました。ジュニア、初心者、ベテラン各部門のパンニング激戦の中、ベテラン部門第1位の広瀬義朗氏が頂上決戦を制し、総合優勝者の証・当館オリジナルマスコット「もーん父さんトロフィー」とオリジナルウィナーメダルを手に入れました。

同日午後の「東西中高交流砂金掘り大会」もドラマティックな展開に！山梨学院大学附属が、常連校強敵の灘、同じく開成、そして報徳、地元・峡南高校を完封。個人戦においては過去例がない、パーフェクト優勝という驚異的な強さを見せて悲願の優勝を勝ち取りました。そんな2010年夏の、あらゆる意味で熱かった一日を結果表と写真で、皆様にお伝えいたします。

ジュニア部門 (6粒/6kg)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	安藤大悟	5	3.141	15	丸茂智沙	5	8.3725	29	川阪凱士	5	9.5853	43	矢崎一樹	1	17.3548
2	立川梨佳	5	4.4692	16	八木秀祐	4	8.4123	30	吉田秀忠	4	10.1229	44	雨宮利佳	2	18.376
3	桑形和樹	5	4.5622	17	松田朋子	5	8.5837	31	新山拓見	4	10.29	45	武藤航輝	2	18.5597
4	後藤穂香	5	5.0966	18	亀尾恰央	5	8.5933	32	後藤誉延	3	10.3801	46	中島優仁	2	18.5994
5	山下将介	5	5.2775	19	藤森大空	5	9.0194	33	米田透	4	10.466	47	奥山夢子	2	18.8501
6	中村裕広	5	5.5416	20	市栄至誠	4	9.069	34	河野静香	3	11.5983	48	松田顕汰	1	20.3238
7	辻有恒	5	6.1607	21	仁木創太	4	9.41	35	北口寛也	4	12.1613	49	松橋真央	1	20.4965
8	横木克昭	4	7.0885	22	吉野航平	5	9.4157	36	吉野圭祐	3	13.1978	50	武藤花道	1	21.062
9	山本啓史	4	7.2831	23	小島亜里	5	9.4345	37	根深なつき	3	14.2332	51	宇野慎介	0	21.2167
10	諫山颯	4	7.3218	24	米須朗宏	5	9.4434	38	倉堀慧紀	2	14.4865	52	鈴木英哲	1	21.3994
11	真田兼行	4	7.4921	25	濱野龍征	5	9.4791	39	浦田和明	2	14.5988	53	谷村智弘	0	21.4769
12	岩間駿斗	4	7.4927	26	岡本遼太郎	4	9.5029	40	永井空琉	1	15.4411	54	吉田幸智	1	22
13	三嶋慶彦	4	7.5957	27	美馬領太	3	9.5506	41	竹内和大	3	15.5752	55	杉山空	0	24.1453
14	堀本秋水	5	8.1148	28	渡井一輝	5	9.5545	42	忌部秀幸	3	16	56	河村紘希	0	25

男女初心者部門 (8粒/10kg)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	土屋祐貴	6	4.5887	12	原口勝成	5	9.1263	23	望月利樹	5	11.5539	34	須藤清子	4	15.5392
2	川田留子	6	5.0615	13	杉山ひろみ	6	9.2178	24	深沢由樹	5	12.4333	35	猪俣ひろひと	3	18.0036
3	小林伸	6	5.319	14	永井秀樹	6	9.4093	25	森川涼介	4	12.4599	36	望月竜也	3	18.1386
4	川崎亮	6	5.5628	15	佐野みよ子	6	9.4621	26	諏訪敬之	3	12.5367	37	瀧本雄一郎	2	18.2496
5	諫山浩士	6	6.1273	16	南雲翔壽真	6	9.4757	27	堀内健太郎	4	13.3152	38	吉野美智代	3	18.2899
6	小菅章裕	5	7.1425	17	菊池祐子	5	10.0866	28	森本晋	4	14.2097	39	船山祐太	1	19.1008
7	吉野嘉洋	6	7.2248	18	原口英樹	4	10.3238	29	深辺清人	4	14.5007	40	鶴岡寛	2	21.052
8	中代綾	5	8.4957	19	吉田明弘	5	11.32	30	鈴木清	4	15.0395	41	武藤愛	1	24.4353
9	坂下博史	5	8.5725	20	石内雅浩	4	11.331	31	畠中慶一郎	4	15.2779	42	萩野友美	1	24.4581
10	高本一盛	5	9.0034	21	日誌亮	5	11.3317	32	吉田秀子	4	15.3496	43	伊藤翔	1	24.5923
11	五十嵐智則	5	9.1062	22	武藤きよ江	5	11.3533	33	功刀悠	4	15.4682	44	佐野天紀	0	27.4308

男女ベテラン部門 (8粒/10kg)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	広瀬義朗	10	4.35	10	近藤直美	8	12.4584	19	佐藤皓一	6	19.31	28	木村伸之	2	27.49
2	井村智子	10	5.33	11	佐藤卓生	7	13.01	20	川田敏文	5	20.14	29	寺嶋浩二	2	28.53
3	藤田敏明	10	8.24	12	中川清	7	13.21	21	野村敏郎	5	20.24	30	中代浩之	2	31.05
4	春山崇	9	9.41	13	長田翔太	8	14.51	22	成島秀樹	5	20.35	31	松田智	2	33.24
5	山口昌教	9	10.95	14	松下竜哉	8	15.15	23	石田政明	5	21.24	32	内田南颯	1	34.00
6	川原敏夫	8	11.04	15	岡田玲子	8	15.32	24	保坂信一	4	22.51	33	林謙治	0	36.24
7	今北佳典	8	11.48	16	光山京太	8	15.34	25	阪口太郎	4	23.26				
8	寺澤保夫	9	12.08	17	岩井務	8	16.00	26	原口静香	4	23.60				
9	本間純	9	12.22	18	大森直之	7	16.02	27	吉田一真	3	24.24				

## 第7回東西中高交流砂金掘り大会 団体戦得点表

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
灘	山下将広③ 3粒	八木秀花② 2粒	美馬領太③ 3粒	諏訪敬之② 2粒	横木克昭③ 3粒	山本啓史④ 4粒	仁木創太② 2粒	岡本遼太郎② 2粒	真田兼行① 1粒	宇野慎介② 2粒	
開成学園	笠浦一海③ 3粒	三島孝太郎② 2粒	馬籠恭平① 1粒	堀越瞬② 2粒	進藤翔太郎② 2粒	井上智輝① 0粒	菅峰久② 2粒	吉村祐輔② 2粒	下山航① 1粒	齋藤隆太② 2粒	
山梨学院	土屋祐貴① 1粒	内田南颯① 1粒	後藤穂香② 2粒	岩間駿斗③ 3粒	丸茂智沙① 0粒	桐山幸大② 2粒	荻野隼③ 3粒	後藤誉延② 2粒	河野静香① 0粒	飯野乾隆② 2粒	
報徳学園	小島亜里① 1粒	渡井一輝④ 4粒	倉堀慧紀① 1粒	濱野龍征② 2粒	川阪凱士③ 3粒	忌部秀幸① 1粒	谷村智③ 3粒	中嶋優仁② 2粒	新山拓見① 1粒	河村紘希① 0粒	
峡南	堀内健太郎② 2粒	伊東翔② 2粒	功刀悠② 2粒	南雲弥壽真② 2粒	佐野天紀③ 3粒	望月竜也① 1粒	石内雅浩① 1粒	畠中慶一郎② 2粒	深沢由樹① 1粒	望月利樹① 0粒	
学校名	11	12	13	14	15	16	採取金粒合計	総合成績(分秒)	獲得点	BP(0.5P)	合計得点
灘	堀本秋水① 1粒	三嶋慶彦⑤ 5粒	森川涼介① 1粒	高本一盛④ 4粒	辻有恒② 2粒	阪口太郎① 1粒	38粒 28.01.65	38粒/1位 34.01.65	30点	0.5点	30.5点
開成学園	藤万秀成③ 3粒	五十嵐遼介① 1粒	村上達郎① 1粒	石岡大空① 0粒	嶋本大祐① 1粒	寺澤博貴① 0粒	23粒 30.00.00	23粒/5位 81.00.00	5点	0点	5点
山梨学院	鈴木英哲④ 4粒	根深なづき③ 3粒	雨宮利佳① 1粒	奥山夢子③ 3粒	松橋真央④ 4粒	小林直樹④ 4粒	35粒 28.30.65	35粒/2位 43.30.65	20点	0.5点	20.5点
報徳学園	竹内和大① 1粒	北口寛也① 1粒	米田透③ 3粒	浦田和明② 2粒	中村裕介② 2粒	川崎亮③ 3粒	30粒 26.04.03	30粒/3位 56.04.03	15点	1.5点	16.5点
峡南	伊藤翔① 0粒	堀内健太郎② 2粒	功刀悠④ 4粒	佐野天紀② 2粒	望月竜也② 2粒	南雲弥壽真② 2粒	28粒 29.30.69	28粒/4位 65.30.69	10点	0点	10点

## 第7回東西中高交流砂金掘り大会 個人戦得点表

学校名	先鋒(5粒)	次鋒(6粒)	中堅(3粒)	副将(3粒)	大将(8粒)	合計得点	順位			
灘	光山京太 5点	7.53.91 4粒	阪口太郎 7点	5.46.44 6粒	桑形和樹 7点	5.51.13 3粒	安藤大悟 10.10.40 4点	吉田一真 4.22.83 11点	34点	2位
開成学園	杉本 径 4点	10.02.54 3粒	須田健太 3点	16.19.91 2粒	芹川祥太 3点	11.41.48 2粒	茂木優樹 16.39.03 3点	佐藤有一郎 13.49.89 3点	16点	5位
山梨学院	立川梨佳 11点	3.46.38 5粒	佐藤皓一 11点	4.55.48 6粒	長田翔太 11点	5.49.02 3粒	小林 伸 5.46.43 11点	土屋祐貴 6.39.30 7点	51点	1位
報徳学園	亀尾怜央 7点	15.18.81 5粒	市栄至誠 4点	15.18.81 3粒	中村裕介 5点	7.06.22 3粒	米須朗宏 7.37.66 6点	川崎 亮 8.28.91 5点	27点	3位
峡南	深沢由紀 3点	6.32.87 2粒	畠中慶一郎 6点	6.32.87 6粒	望月利樹 6点	6.21.06 3粒	石内雅浩 7.50.16 5点	南雲弥壽真 13.43.26 4点	24点	4位

### 総合成績

学校名	団体戦得点	団体戦順位	個人戦得点	個人戦順位	ボーナス得点	総合得点	総合順位	個人賞	
灘	30.5点	1位	34点	2位	3.5点	64.5点	2位	MVP	立川梨佳(山梨学院)
開成学園	5点	5位	16点	5位	0点	21点	5位	新人賞	三嶋慶彦(灘)
山梨学院	20.5点	2位	51点	1位	5.5点	71.5点	1位	新人賞	渡井一輝(報徳学園)
報徳学園	16.5点	3位	27点	3位	3.5点	43.5点	3位		
峡南	10点	4位	24点	4位	2点	34点	4位		

団体戦は30分間の制限時間で1人/3kgを1チーム16人でルー方式で、どのバケツに幾つ入っているかは分からないが、チーム全体で40個の砂金が入っている。団体戦では1位が30点、2位が20点、3位が15点、4位が10点、5位が5点を獲得し、残り時間1分につき、0.5点のBPが加算される。個人戦は1人/6kg、制限時間8分間。1位が10点、2位が7点、3位が5点、4位が3点、5位が2点を獲得できる。個人戦の場合は1人/6kg外だった場合、BP1点に加算される。団体戦、個人戦で獲得した総獲得点数で順位を決定する。

砂金採りの訓練!? 峡南高校は後日、自然河川で



2010年優勝 山梨学院大学附属中高チーム

2回目の出場ですすでにトップを脅かす存在に。 今年は控え目な目標だった? 開成

顧問の猛特訓を受ける(?) 灘

## 秋の遺跡見学会開催のお知らせ 全2回

### 2010年秋の遺跡見学会第1弾 愛知県・津具金山

昨年の伊豆方面金山遺跡見学会から続く県外鉱山遺跡見学会の見学地は、愛知県津具。中世戦国期、武田家が最も勢力を拡大した時代の領土最北端に位置したのが、この津具金山。津具金山遺跡と信玄ゆかりの遺構を訪ねながら、あわせて、一般には公開されていない見学施設を特別にご覧いただくことができる金山博物館ならではの『遺跡見学会』として、準備を進めています。博物館からは貸し切りバスでの移動となり、現場ではウォーキング程度の移動となりますので、見学会には行きたいのに登山に自身がなくて…、という方もお気軽にご参加いただけます。

期 日：平成22年10月23日(土)【日帰り】  
午前6時 集合～ 午後8時 金山博物館着

現地案内：○津具金山遺跡および周辺遺構  
【設楽郡文化財保護審議委員の皆様】  
○鳳来寺山自然史科学博物館【新城市】  
○三信マイカ【三崎純市社長（三信工鉱株式会社）】



- 定 員：20名
- 締め切り：平成22年10月21日(木)まで。または定員になり次第
- 参加費：6,000円（バス・昼食代・観覧料を含みます。参加費は当日受付時に頂戴いたします。）  
※博物館応援団でない方は、6,300円です。あらかじめご承知置きください。
- 募集対象：一般（※お申込時には、お名前、ご住所、電話番号をお伝えください。）
- 持ち物：ヘルメット、軍手、長靴 ※入坑の際に必要となりますので、できるだけ各自ご用意ください。  
（お申し込みいただいた方には、その他、詳細の要項をお送りいたします。）

#### ☆見学地及び見学ポイント☆

津具金山遺跡については、現地の文化財保護審議委員の皆様方にご案内・ご説明いただきます。また津具金山に関わる鉱山道具を鳳来寺山自然史博物館で見学。三信工鉱株式会社は、国内でも数少ない絹雲母を採掘・精製しているセリサイト鉱山で、“生きた鉱山”を三崎社長直々に特別にご案内いただきます。



セリサイト鉱山のトロッコレール（左）。鳳来寺山のその名のとおりのおびりした雰囲気（右）。

### 2010年秋の遺跡見学会第2弾 湯之奥・茅小屋金山

期 日：平成22年11月20日(土)  
午前7時30分 集合～ 午後4時30分 解散

見 学 地：湯之奥・茅小屋金山遺跡…昨年の測量調査の結果、新たに発見されたポイントなどを中心に見学を予定。今年測量調査を行っている内山金山の新情報なども合わせて、現場でご紹介します。

- 定 員：15名（参加無料）
- 締め切り：平成22年11月18日(木)まで。または定員になり次第
- 募集対象：一般（※お申込時には、お名前、ご住所、電話番号をお伝えください。）
- 持ち物：昼食、登山に適した服装。この時期、山中は冷え込むことも予想されます。防寒対策、下山後の着替えなど、各自ご用意ください。（お申し込みいただいた方には、その他、詳細の要項をお送りいたします。）
- 両見学会 申し込み・問い合わせ……湯之奥金山博物館 TEL 0556-36-0015  
FAX 0556-36-0003まで

## 平成22年度公開講座「8～16世紀 空白の産金史の実像」開催のお知らせ

今年も公開講座の季節がやって参りました。大テーマはタイトルにあるように、8世紀から16世紀までの砂金から山金に移り変わっていく中の記録がほとんど皆無に等しい中で、各分野・方面からその産金史に関する歴史の空白部分を埋めることが出来ないだろうか、という試み。今年も研究の第一線で大活躍の著名な先生方のお話をお聞きいただけます。各回とも午後2時から、博物館多目的ホールにて開催（聴講無料）。10月16日(土)が第1回目。今後の日程他、詳細は同封ポスターチラシをご参照ください。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

